

日 時 平成20年11月16日（日）午後2時06分キックオフ（秋晴れ）

会 場 国富町六野原グラウンド

相 手 跳勇

結 果 1-1（1-1、0-0）

得点者 緒方

内 容 痛い引き分け

今節は、跳勇との対戦。たぶん、過去勝ったことはない。今期はメンバーが揃わず成績は良くないが、揃えば強豪。そしてメンバーは長岑理事長（御歳54才）を含め11人ジャストであった。一方、フェニックスも11人ジャスト。谷之木大明神が雲隠れしたゴールマウスは、前試合に続き久保が担当。グラウンドは若干スリッピーな状態、という感じで試合が始まった。

序盤は五分五分の展開。跳勇は、球際の当たりが強いもののフェニックスも一歩も引かず。審判の不可解な判定に長岑氏キレる。で、開始早々の前半5分、マッコフィルダー越智が中央右からドリブルで切り込み筋肉シュートを放つもバーに嫌われる。10分には、藤田のコーナーキックから谷口頭一つ抜け出しヘッドで合わすもゴールならず。そして24分、コーナーキックから逆襲を受け、跳勇FWにDFライン裏のスペースに抜け出され、1対1に。これを難なく決められ、0-1。

しかし、31分、MF越智のファールスローを受けた大介が、右からドリブルで切り込み、シュート。これが逆サイドへのセンタリングとなり、MF緒方が角度の無いところから頭で押し込みゴール！1-1の同点に。流れを引き寄せての前半終了となった。

後半は、、、10分、中園がロングシュートを浴びせるもゴールならず。14分、相手が1名（長岑氏）負傷退場で10人になり攻撃の回数が増える。15分、越智が右からドリブルで切り込みセンタリングするも合わず。18分、GK久保からのロングボールに大介追いついてゴールするもオフサイド。これは、ルールではオフサイドではないらしいが、うやむやのまま試合続行。28分、相手ゴール前で右から左に回り込んだ黒田がシュートするもサイドネットへ。30分、左サイドにあがったHT児玉からのセンタリングにボランチの藤田がヘッドで合わすも相手GKの好守に阻まれる。そして、タイムアップ。1-1の引き分けに終わった。

今回は勝てた試合でした。気迫では相手と五分であったものの、後半は圧倒的にボールを支配。ディフェンスは数回危ない場面があったものの、ピンチは少なく。相手GKの好守に、あと1点が取れませんでした。エース黒田が時折シュートを放つも、ボールにヒットせず。攻撃は右サイドに偏り、左のMF緒方をうまく活用できず。前週の練習が無かったせいか、細かいパスで崩すことが出来ず、数的有利を生かせず、。

次節は最終戦。ここ2試合勝ち星なし。すっきり勝って、年明けの新年会を迎えたいところです。

参加者

<先発>

FW（黒田、渡邊）

MF（緒方、谷口、藤田、越智）

DF（工藤、三井、児玉好、中園）

GK（久保）

<交代>

監督、コーチ：高妻、久保野

